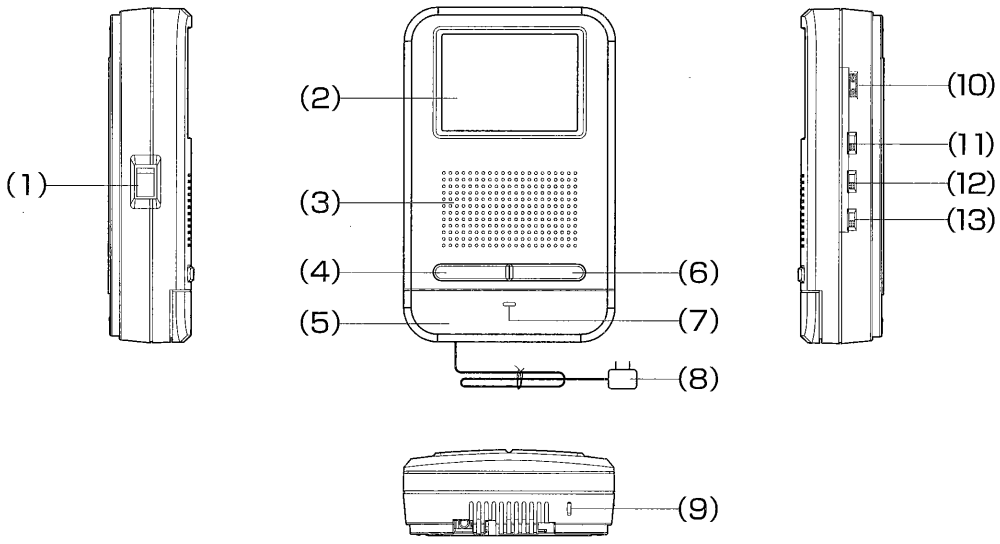
TOSHIBA　東芝インターホン取扱説明書　保証書付

対象機種	親子セット　HTV6001MD (HTV6001MとHTV6001Dのセット) 親　　機　HTV6001M 子　　機　HTV6001D

このたびは東芝インターホンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めのインターホンを正しくご使用していただくために、ご使用の前に「取扱説明書」と「安全上のご注意」および「製品に貼付してある表示」をよくお読みください。なお、お読みになったあとは必ず保管してください。

各部のなまえとはたらき

親機HTV6001M



(1)電源スイッチ
電源を「入・切」するときに使用します。
(出荷時：「入」)

(2)モニター画面(LCD)
子機でキャッチした映像を映し出します。

(3)スピーカ

(4)プレストークボタン(手動)
子機の周囲が騒がしい場所など、通話のきりかえがスムーズに行えないときに利用します。
ボタンを押しながらお話し、離して聞きます。

(5)通話ボタン
通話を開始/停止する時にこのボタンを押します。

(6)モニターボタン
子機周囲の様子を室内から確認したいとき、このボタンを押すと約60秒間映像と音で確認できます。
(室内の音は子機側には聞こえません。)

(7)通話表示灯(赤)
通話状態の時にランプが点灯します。

(8)電源コード(コード長：約1.2m)

(9)マイク

(10)明るさ調整ボリューム
モニター画面の明るさを調整できます。

(11)呼出音量調節つまみ
呼出音(チャイム音)の音量を「大・中・小」3段階に調節できます。
(出荷時：「大」＊呼出音を切る事はできません。)

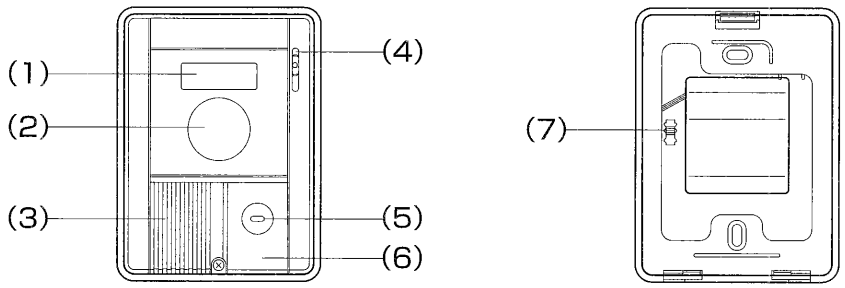
(12)受話音量調節つまみ
子機から親機への通話音量を「大・中・小」3段階に調節できます。(出荷時：「大」)

(13)送話音量調節つまみ
親機から子機への通話音量を「大・中・小」3段階に調節できます。(出荷時：「大」)

工事店様へ	工事が終了しましたら、この取扱説明書裏面にある保証書に必要事項を記入の上、必ずお客様へお渡しください。

＜生産完了 2008年01月16日＞
HTV6001M (1／8)

子機HTV6001D



(1)白色発光ダイオード内蔵部
夜間照明用白色発光ダイオードが内蔵されています。暗くなると自動で点灯します。

(2)カメラ部
被写体の明るさに応じて感度を自動的に調整し、映像を映します。

(3)スピーカ

(4)マイク

(5)ボタン位置表示灯(赤)
暗い場所でも呼出ボタンの位置が確認できます。

(6)呼出ボタン
このボタンを押すと親機から呼出音(チャイム音)が鳴ります。

(7)カメラ角度調節つまみ
子機のカメラ角度を上方向(約12°)、または下方向(約6°)に調節でき、カメラの撮影範囲を変えることができます。

特にご注意を

●親機／子機、親機／増設親機、または通話専用室内機間の配線に雷や他の機器からの誘導電圧が混入し、本製品の破壊・誤動作・雑音混入・画質劣化が発生する場合があります。屋外架空配線やAC100V等の電力線及び電話機、その他機器の電線との並行配線はおやめください。

●電灯線式のチャイムやインターホンの配線はAC100V等の高電圧がかかっている場合がある為、そのまま使用する事はできません。お取り付けになった電気工事店にご相談ください。誤って、親機／子機間、親機／増設親機、または通話専用室内機間、親機／呼出増設用スピーカ間の通信線にAC100V等の電圧が加わると修理不可能な損傷が発生します。

※電灯線式のチャイムやインターホンとは、今までに一度も電池交換をしたことがない機器等です。特に電源直結式の機器は電源コードやプラグがないので電池式の機器と間違う危険があります。くわしくは販売店や電気工事店におたずねください。

●本体は分解しないでください。内部に高電圧回路部があり、非常に危険です。電源をはずしても、内部の電気回路に高電圧が残留している事がありますので、絶対に分解しないでください。

●電源は必ず家庭用のAC100Vのコンセント、または屋内配線に接続してください。その他の動力用やインバータ式などの電源に接続しますと、破壊・雑音混入・画像乱れが発生する事があります。

●本体を落下させないでください。モニター等にガラスを使用した部品があり割れたり、その他回路不良が発生する事があります。この場合には直ちに親機の電源スイッチを「切」にし、販売店や電気工事店にご相談ください。

●放送局などの送信アンテナの近くでは、電波が混入し映像が乱れたり、音声が混入する場合があります。

●電子レンジや携帯電話など、強い電磁波、電波が出る機器の近くで使用すると、映像が乱れる場合があります。このような機器からは、できるだけ離して設置してください。

■親機は次の場所には取り付けないでください。

●湯沸器、炊飯器や暖房器具の真上やその付近。　●直射日光のあたる場所。　●製氷倉庫など0℃以下になる場所。
●風呂場、脱衣所、厨房など湿気の高い場所。　●ガス・ほこり・油煙が特に多い場所。
●水や薬品がかかるおそれがある場所。

＜生産完了 2008年01月16日＞
HTV6001M (2／8)

■子機を取り付ける際、取付面との防水性を確保する為、子機の上・側面の取付枠と取付面をコーキングしてください。
尚、子機の地面側(下面側)はコーキングしないでください。
内部に入った水を外部に流出させるための水抜き穴がふさがり故障の原因になります。また、子機は鉛直な取付面に取り付けてください。傾斜した面に取り付けると排水性能が悪くなり故障の原因になります。

■子機は防雨形(JIS　C　0920　保護等級3)ですが直接ホースなどで水をかけないでください。
直接水をかけますと故障の原因になります。

知っておいていただきたいこと

●本製品は家庭用インターホンとして設計されていますので、監視カメラ等の様に連続使用する事はできません。

●子機の周囲の気温差によって子機レンズ部が結露し、親機の映りが悪くなる事があります。結露がなくなれば回復します。

●子機に内蔵している照明用白色発光ダイオードの光の照射範囲は、カメラの撮像範囲よりも狭いため、周囲が暗くなると昼間よりも映る範囲が狭くなります。また、光量が少なくなるため、画面にノイズが増え、顔が見えにくくなりますが、故障ではありません。

●親機は、子機から5m以上離して設置してください。また、反響の多い場所への設置は避けてください。通話不良の原因になります。

●親機から20cm以内に、物を置かないでください。特に親機下部には、マイクが設置されていますので、通話不良の原因になります。

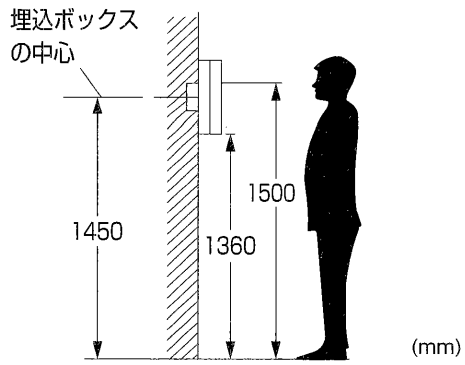
●モニター画面(液晶パネル)は一部に画素の常時点灯・消灯するものがありますが、故障ではありません。

取り付けかた

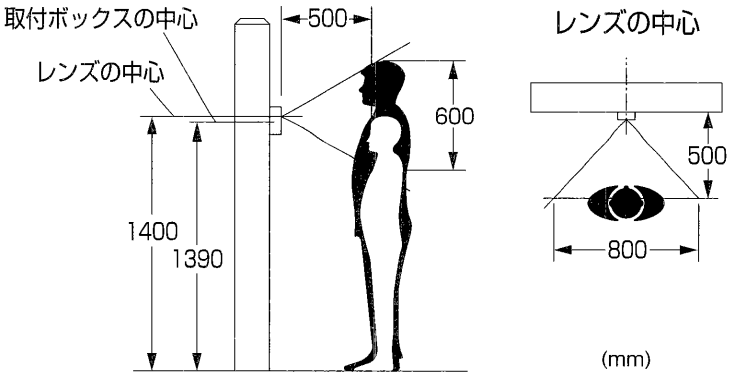
■親機の取り付け位置について
親機の設置高さは、モニター部の中心が目の高さになる約1500mmが標準的です。この場合、取付金具の中心(スイッチボックスの中心)が床面から1450mm高さとなります。

■子機の取り付け位置について
子機の設置高さは、レンズ部が地面から約1400mmが標準的です。この場合、取付枠の中心(スイッチボックスの中心)が地面から1390mmの高さとなります。

●標準的な取り付け高さ



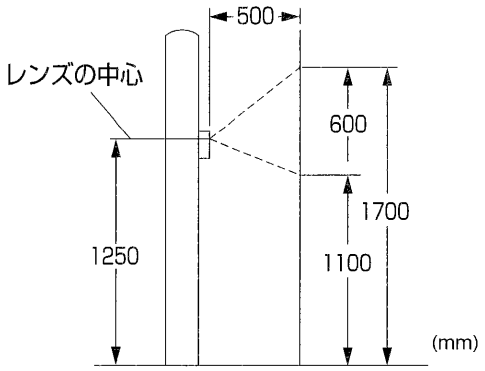
●カメラに映る範囲及び標準的な取り付け高さ



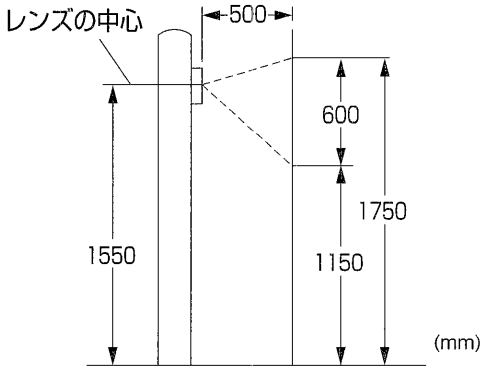
■子機のカメラ角度調節について

子機背面のカメラ角度調節つまみを上方向（約12°）、または下方向（約6°）にスライドして調節します。
下記の寸法を参考にして、カメラ角度を調節してください。

●カメラ角度を上方向(約12°)へ移動した場合の
カメラに映る範囲及び取り付け高さ
（カメラ角度調節つまみを下側に移動します。）



●カメラ角度を下方向(約6°)へ移動した場合の
カメラに映る範囲及び取り付け高さ
（カメラ角度調節つまみを上側に移動します。）

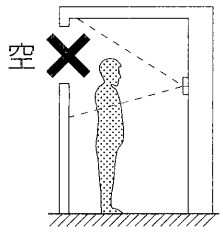


■ご注意

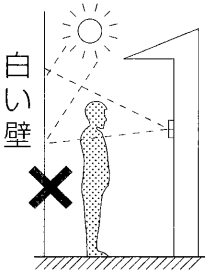
●カメラに直射日光(太陽)をあてないでください。

●逆光の場合、訪問者の顔が暗く識別しにくくなることがあります。下図のような場所への設置は避けてください。

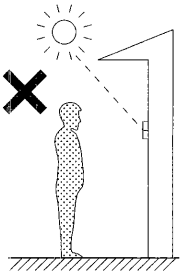
背景に空がよく映るところ



正面に、直射日光が反射する白壁があるところ

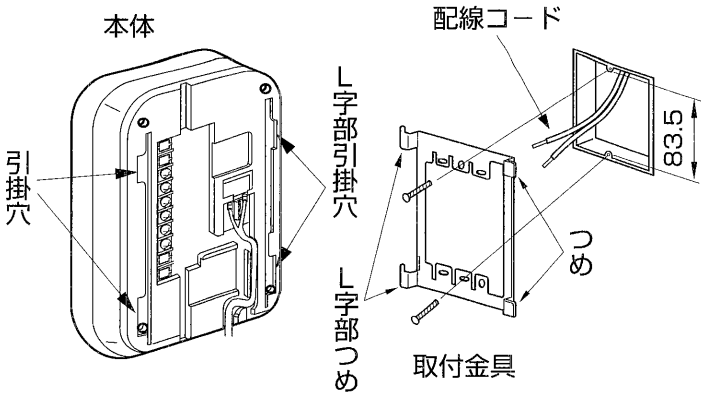


直射日光や強い光が当たるところ



■親機の取り付けかた

1. 本体裏面に付いている取付金具をはずします。
2. 取付金具を付属のねじでJIS1個用スイッチボックス、または壁面に取り付けます。
3. 右図を参考にして、取付金具のL字部つめを本体裏面のL字部引掛穴に取り付けます。
4. 本体を取付金具に引っかけた状態で配線コードを本体に表示している端子説明を参考にして、端子に結線します。
5. 本体を取付金具側に倒しながら取付金具に取り付けます。
6. 子機を配線した後、電源プラグをコンセントに差込み本体側面にある電源スイッチが「入」になっていることを、確認してください。



＜生産完了 2008年01月16日＞
HTV6001M (4 / 8)

■電源線を親機に直結するとき

（この工事は電気工事士の資格が必要です。資格を持たない人が工事をする事は、法律で禁止されています。）

●電源線（AC100V）と配線コードを同一ボックスに入線する場合、スイッチボックスはセパレータ付きを必ず使用し、電源線と配線コードが混触しないようにしてください。

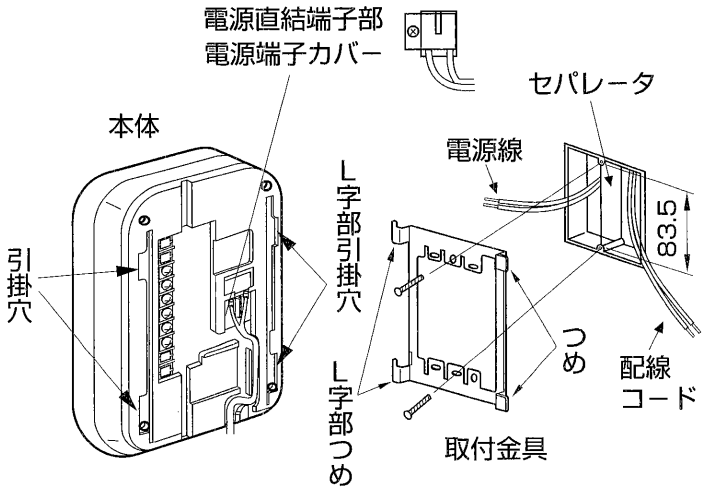
●電源線は親機本体裏面にある電源端子カバーを取り外し、電源コードを取り外してから電源端子に結線してください。最後に必ず電源端子カバーを元の状態に取り付けてください。

■電源線を結線する場合は以下内容にご注意ください。
（火災、感電の原因となります。）

●電源線はφ1.0～φ2.0mm単芯銅線を使用してください。

●電源線の電源を入れたまま工事をしないでください。

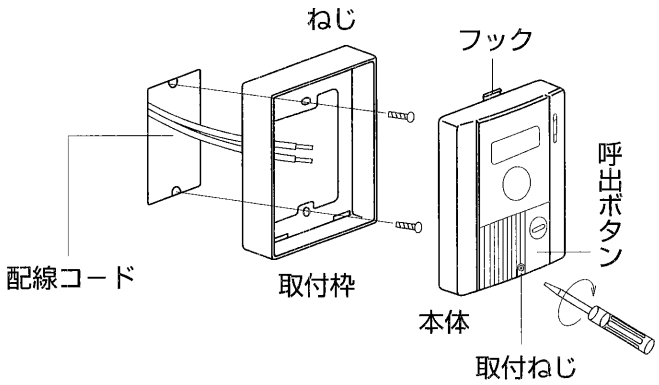
●電源端子以外の端子に電源線を結線しないでください。



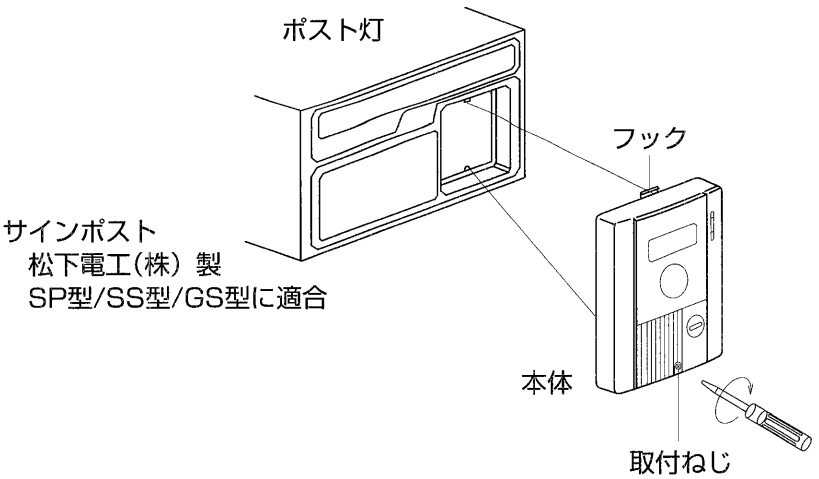
■子機の取り付けかた

1. 取付ねじをゆるめ、本体から取付枠をはずします。
2. 取付枠を付属のねじでJIS1個用スイッチボックス、または壁面に取り付けます。
3. 配線コードを端子に結線します。
4. 本体上部のフックを取付枠に合わせてからはめ込み、取付ねじで固定します。

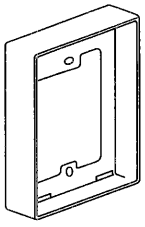
■スイッチボックスに取り付ける際は、ボックス底面に水抜き穴を設けてください。
ボックス内に入った水が子機側に逆流し、子機内部への浸水につながり故障の原因になります。



■ポスト灯への取り付けかた



取付枠は使用しません。



1. 子機の取付ねじをゆるめて、本体から取付枠をはずします。
2. 配線後、本体上部のフックをポスト灯に合わせてから、はめ込み、本体の取付ねじで固定します。

■子機の取り付け角度を左右方向に変更する場合は別売の左右傾斜台（HTV-830）をご使用ください。
右方向、または左方向へ約30°傾けて取り付けることができます。
（ポスト灯への取り付け時には、ご使用できません。）

＜生産完了 2008年01月16日＞
HTV6001M（5／8）

接続のしかた

●呼出増設用スピーカ(HJS1002、またはHJS2000：別売)を使用しますと子機から呼ばれたときに呼出増設用スピーカからも呼出音が鳴ります。HJS2000はキセノンランプも点滅します。(通話はできません。)

●親機／子機、親機／増設親機(HTV6001M：別売)、または通話専用室内機(HTV6001T)間の配線は、途中で他の種類のケーブルと接続、分岐、平行配線、平行の2芯を1本ずつ引き離したりしますと、画像が乱れたり、画質が悪くなる場合があります。また、遊び線(未使用線)がないように、すべてをつなぎ込んでください。

■最大接続例

●親機(HTV6001M)

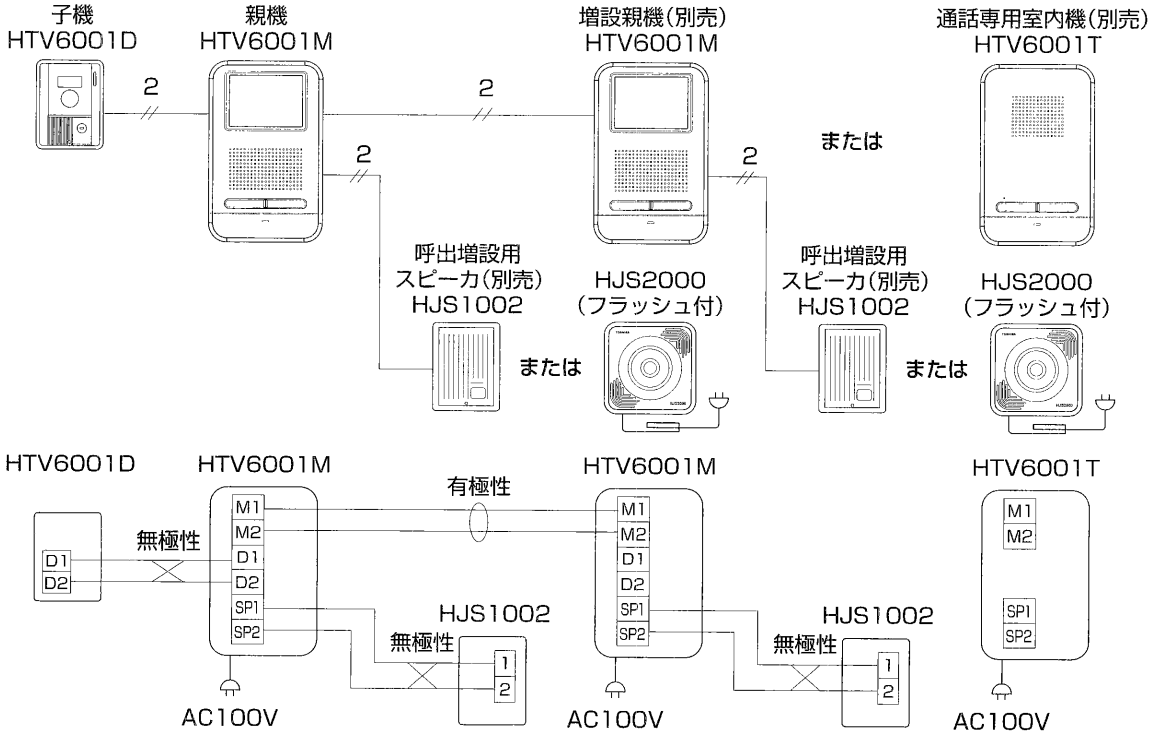
●子機(HTV6001D) ……システムに1台まで接続できます。

●増設親機(HTV6001M)、または通話専用室内機(HTV6001T) ……システムに1台接続できます。(室内間の呼出・通話はできません)

●呼出増設用スピーカ(HJS1002：別売) ……親機、増設親機、通話専用室内機に各1台まで接続できます。

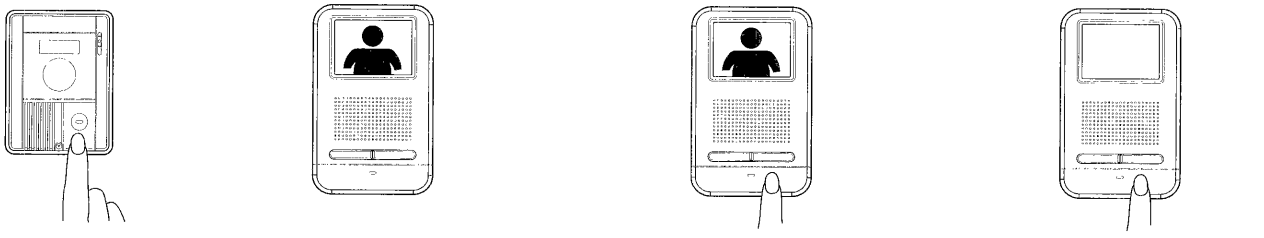
(HJS2000：別売) ……親機、増設親機、通話専用室内機に各3台まで接続できます。

最大接続図



使いかた

■子機から呼ばれたとき



子機の呼出ボタンを押します。

＊このとき子機側でも呼出音が小さく聞こえ、呼出を確認できます。

全ての親機から呼出音が鳴り、子機のカメラの映像が映ります。

＊呼出増設用スピーカを接続した場合、親機と同じ呼出音が鳴ります。(音量調節はできません。)

通話ボタンを押し、通話します。

通話が終わりましたら、通話ボタンを再度押します。

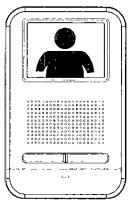
●増設親機、または通話専用室内機を接続している場合、他方の機器が子機と通話中にもう一方の機器の通話ボタンを押すと、一緒に子機との通話状態となりますが、故障ではありません。他方の機器が通話中であれば、再度通話ボタンを押し、通話を終了してください。

＜生産完了 2008年01月16日＞
HTV6001M (6 / 8)

■相手の通話が終わらない内に話すと、声が途切れることがありますので、相手の話が終わってから話してください。
■親機・子機の周囲の音が大きいときは、通話が途切れる場合があります。
■呼出及び通話時には、スピーカから大きな音が出るので耳を近づけて使用しないでください。聴覚障害等を起こす原因となります。

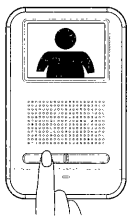
■プレストークボタン(手動)で通話するとき

子機の周囲が騒がしい場所など、通話のきりかえがスムーズに行えないときに利用します。

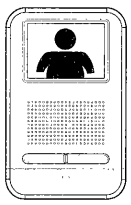


呼出後、通話ボタンを押し通話状態のときに

＊プレストークボタンは子機との通話状態からの操作でしか動作しません。

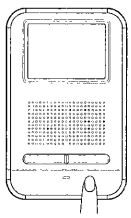


プレストークボタンを押すと同時に、プレストーク通話に切りかわります。
こちらから話すときは、ボタンを押しながら話します。



相手の話を聞くときはボタンを離して聞きます。

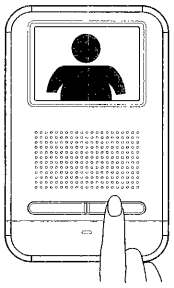
＊一度、プレストーク通話に切りかわりますと、手動によるボタン操作でしか通話できません。



通話が終わりましたら、通話ボタンを押します。

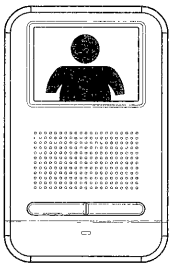
＊自動による通話を開始する場合は、一度、通話ボタンを押し、通話を終了し、再度通話ボタンを押してください。

■子機周囲の様子を確認したいときに(モニター機能を使うとき)

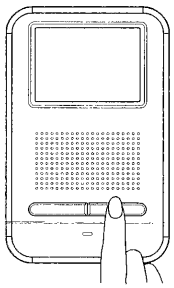


モニター画面が消灯状態でモニターボタンを押します。

＊モニターボタンは子機との通話状態からの操作では動作しません。



モニター画面に子機のカメラの映像と音が確認できます。
(室内の音は子機側には聞こえません。)



再度、モニターボタンを押すと、映像と音が切れます。
操作しなければ、約60秒で自動的に切れます。

●増設親機、または通話専用室内機を接続している場合、モニター機能は他方の機器の状態に関係なく、使用することができます。

■モニター画面のタイマー時間一覧

子機から呼ばれて通話ボタンを押していない場合。	約３０秒
子機周囲の様子を確認するためにモニターボタンを押した場合。	約６０秒
通話ボタンを押して、通話する場合。 (約3分で映像・通話は切れます。通話を継続する場合は、再度通話ボタンを押してください。)	約３分

■呼出・受話・送話音量の調節について

呼出音量	呼出音(ピンポン音)を大・中・小と切りかえができます。「小」は「切」ではありません。(出荷時：「大」)
受話音量	受話音量(室内から聞こえる音)を大・中・小と切りかえができます。「小」は「切」ではありません。(出荷時：「大」)
送話音量	送話音量(子機から聞こえる音)を大・中・小と切りかえができます。「小」は「切」ではありません。(出荷時：「大」)

お手入れのしかた

●本体外観の汚れは、親機電源スイッチを切り、薄めた中性洗剤を浸したやわらかい布をよくしぼってからふいてください。
●本体外観をいためますので、シンナー、アルコールなどの薬品や化学ぞうきんでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
特にカメラ部の透明樹脂部は薬品に侵されて曇りが発生する場合がありますのでご注意ください。

＜生産完了 2008年01月16日＞
HTV6001M(7/8)

仕　様

●通話方式　自動交互通話／手動交互通話 選択式
●電　　源　AC100V　50／60Hz
●消費電力　待受時0.9W、最大時12W
●呼出信号　電子チャイム音(音量3段切換)
●通達距離(最大)

線種	断面積(mm^2)	0.3	0.5	0.75	1.25
	線径φ(mm)	0.65	0.8	1.0	1.2
距離	親機～子機 親機～増設親機間 親機～通話専用室内機間　トータル距離(m)	50	80	100	120
	親機～呼出増設用スピーカ 増設親機～呼出増設用スピーカ (m)	150	250	300	600

●使用温度範囲　親機　　0℃～+40℃
　　子機　−10℃～+50℃

●設置場所　親機　屋内用　　子機　屋内外兼用(防雨形)
●外観色調　親機　ホワイト　　子機　オフブラック
●画　　面　3.5インチLCD
●カ メ ラ　固体撮像素子
●寸　　法　親機　幅112×縦176×奥行43
　　(mm)　子機　幅　95×縦127×奥行40
●質　　量　親機　約450g　　子機　約200g
●付 属 品　取扱説明書（安全上のご注意）
　　親機取付金具（本体に付属）
　　小ねじ　　M4×30　4本
　　木ねじ　φ3.8×20　4本

保証と修理サービス

修理を依頼される前に、次の点についてもう一度お調べください。

●呼び出しも通話もできないとき
・電源線の電源が直結されている場合は、その屋内配線回路のブレーカがOFFになっていませんか。　・親機の電源スイッチが「切」になっていませんか。　・親機の電源プラグが抜けていませんか。・親機や子機の配線が端子からはずれていませんか。

●映像が不鮮明なとき
・親機の明るさの調整がずれていませんか。　・カメラ前面、モニター表面が汚れていませんか。

●呼出音や通話音が小さいとき
・親機の呼出、受話、送話の音量調節がずれていませんか。

東芝インターホン保証書

形　名	HTV6001M / HTV6001D	
★お客様	お名前	ふりがな　様
	ご住所	〒□□□-□□□□
	電話	市外　市内　番号　呼
保証期間	本体	1年　★お買いあげ日　年　月　日から
★ご販売店	住所・店名　電話	

東芝ライテック株式会社　電材照明社

〒140-8660　東京都品川区南品川2-2-13(南品川JNビル)

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した時には、お買いあげの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。
★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

（右記をご覧ください）

保証について
・保証期間は、商品お買い上げ日より１年間です。
・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき
・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関する相談は、お買い上げの販売店(工事店)または東芝のお客様相談センターにお問い合わせください。その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。
・保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

保証の免責事項
1.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（1）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（2）お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
（3）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（4）車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
（5）施工上の不備に起因する故障や不具合
（6）法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
（7）日本国内以外での使用による故障及び損傷
2.離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

部品について
・修理のため取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
・修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
・補修用性能部品の保有期間
製造打ち切り後，7年保有しています。

・ご転居されたり、贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合
『東芝家電修理ご相談センター』0120-1048-41　（フリーダイヤル）
・新製品などの商品選び、お取扱い・お手入れ方法などのご相談
『東芝家電ご相談センター』　0120-1048-86　（フリーダイヤル）
携帯電話、PHSからのご利用は　(03)3426-1048　（有料）
＊フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

東芝ライテック株式会社　電材照明社　〒140-8660 東京都品川区南品川2-2-13　（南品川JNビル）

(60203)A

<生産完了 2008年01月16日>
HTV6001M (8 / 8)